

# 埋蔵文化財ニュース

2022年(令和4年)12月5日(第10号)  
富士市教育委員会  
文化財課  
富士市埋蔵文化財調査室

## 伝法 東平第1号墳出土品 県文化財に指定

### 「丁字形利器」を含む 武具や馬具など



静岡県指定有形文化財に指定された東平第1号墳出土品  
中央の「T」形の鉄器が国内に4例の「丁字形利器」

富士市伝法の地にかつて存在した古墳「東平第1号墳」の出土品が「東平第1号墳出土遺物一括」として、令和4年12月2日、静岡県指定有形文化財に指定された。11月18日に静岡県知事から県文化財保護審議会へ諮問され、同日の答申を受けて、12月2日、県知事により告示された。

指定されたのは、東平第1号墳から出土した武具、馬具、土器など総点数約170点。  
令和3年12月24日には、同じ伝法古墳群に属する中原第4号墳の出土遺物が静岡県指定有形文化財に指定されている。



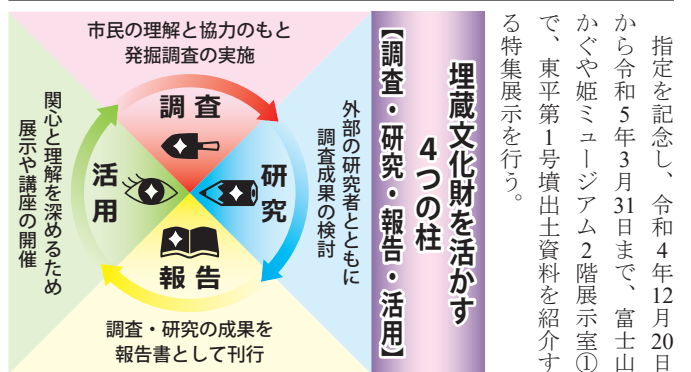
東平第1号墳と周辺遺跡の位置

### 東平第1号墳 発見から県指定有形文化財へ

🔑	平成元年 11月	東平第1号墳 発見・発掘調査
📖	2年 3月	『静岡県史』資料編2 考古二にて調査成果の概要を報告
	2年 6月	『東平第1号墳発掘調査概報』刊行
	4年 3月	『静岡県史』資料編3 考古三に重要遺物として遺物図が掲載される。
👁️	28年 4月	本報告書刊行に向けた整理作業を開始。県内の研究者による資料の調査・検討と考察論文の執筆。
📖	30年 3月	本報告書『伝法 東平第1号墳』刊行。 ※ 報告書は富士山かぐや姫ミュージアムにて販売中
👁️	令和元年 10月	季刊考古学・別冊30『賤機山古墳と東国首長』東平第1号墳を含む伝法古墳群について研究発表
👁️	元年 12月	<b>東平第1号墳出土品 富士市指定有形文化財に指定</b>
👁️	2年 1月	富士山かぐや姫ミュージアム 第57回企画展『東海の軍を発す 伝法 東平1号墳とヒミツの武器』 ※ 展示図録は富士山かぐや姫ミュージアムにて販売中
	2年 2月	富士山かぐや姫ミュージアムと静岡市立登呂博物館の連携企画講演会『賤機山古墳と駿河の首長』 演題「伝法 東平1号墳の時代 - 富士山南麓における地域開発の胎動 -」
	2年 6月 3年 2月	文化庁主催『発掘された日本列島2020』展 伝法古墳群出土品が全国5箇所を巡回
👁️	4年 12月	<b>「東平第1号墳出土遺物一括」 静岡県指定有形文化財に指定</b>

東平第1号墳は、平成元年に新たに発見され、発掘調査が行われた古墳である。  
埋葬施設である横穴式石室からは、「丁字形利器」と呼ばれる特殊な形の鉄器、鏝などの刀装具に銀の象嵌が施されたものを含む3振の大刀、多数の鉄鏃や弓の金具、轡や鐙などの馬具が出土した。これらの遺物から7世紀中頃(古墳時代終末期)に造られた古墳と考えられている。「丁字形利器」は、朝鮮半島で軍事統率権を象徴する柄穴鉄斧の系譜をひく鉄器である。東平第1号墳に葬られた人物と朝鮮半島とのつながりを示すとともに、この人物が軍事的な指揮権を有していたことが想定される重要な資料である。

また、銀象嵌装鏝付大刀や、金銅装のものを含む複数組の馬具などからはヤマト王権との深い関わりが想定されている。  
東平第1号墳は墳丘径約13mの小規模古墳であるが、こうした品物を保有していることから、東駿河地域では最上位に位置づけられる古墳と言える。  
東平第1号墳の出土遺物は、古墳時代終末期の当地域に、ヤマト王権や朝鮮半島とつながりを持ち、馬や鉄製品の生産を行い、軍事的な指揮権を有する武人的性格の強い有力者が存在したことを示す、静岡県の古代史を理解する上で欠かせない重要な資料として、静岡県指定有形文化財に指定されることとなった。



指定を記念し、令和4年12月20日から令和5年3月31日まで、富士山かぐや姫ミュージアム2階展示室①で、東平第1号墳出土資料を紹介する特集展示を行う。